

令和5年度第2回「健康おかやま21推進会議」議事録（概要）

日時 令和6年2月9日（金）14：00～15：30

場所 ピュアリティまきび

出席者 健康おかやま21推進会議委員 23名
事務局 7名

1 開 会

2 挨拶（岡山県保健医療部次長）

3 議 事

- (1) 第3次健康おかやま21（案）について
- (2) おかやま健康づくりアワードについて
- (3) 禁煙・受動喫煙防止の取組について
- (4) 岡山県国保ヘルスアップ支援事業実績について
- (5) 地域・職域保健連携推進事業について

【意見交換（要旨）】

(1) 第3次健康おかやま21（案）について

(委員) フッ化物洗口に関して学校の先生から意見をいただいているが、やっている学校、やっていない学校でどのくらい差があるのか、どのくらいの学校が実施しているのか伺いたい。

→今年から新見市内の全小学校がフッ化物洗口を始めている。まだ、やり始めて1年だ。2～3カ所の私立幼稚園や保育園でも行っていただいている。また、玉野市内の保育園でも取組み始めた状況である。他県では、フッ化物洗口を取り入れてから効果が出ているところがあるのは承知している。

(委員) フッ化物洗口について、意見は、学校の先生からばかりで、仕事を増やすのは世の中の流れに逆行しているとの意見もある。専門の職員を配置して欲しいとの声に対して県はどのように対応するのか。

→必ず事前に学校、保護者へもしっかり説明をさせていただいて、皆さんがやれるという考えを統一されている所から始めさせていただいている。最終的に学校園や教育委員会でご判断いただいている。今後もこのような方法で推進してまいりたい。

(委員) せっかく取り組むなら、きちんと評価をしていただきたい。

(委員) フッ素洗口を健康教育の一環として実施していく。家庭では健康格差があるので、学校で実施していこうということになった。実施にあたっては、先進県の視察やDVDを活用して、負担を理解した上で進めているので、そのあたりは重々御理解いただければありがたい。むしろ虫歯だけではなく口腔の健康が全身に影響を与えることは、ここにいらっしゃる方は周知されていることだと思う。その前段階でのフッ素洗口であることを御理解いただきたい。

(2) おかやま健康づくりアワードについて

(委員)今年度は、講演会の内容も面白く、是非皆さん参加いただければいいと思う。

ただ、表彰については、応募する企業数が少ないのではないかと思う。広報活動にも力を入れていただきたい。

→県としても引き続き広報に力を入れていく。この推進会議が共催となるので、それぞれの組織でも広報、お知らせをしていただければと思う。

(委員)地域職域連携というのは、とても大切なことだと思う。アワードの表彰につ

いても応募件数が増えれば良いと思う。表彰の審査基準について、事業所の取組について医療的な健康管理だけではなく、業務的な健康管理をきちんとすることで評価できるように基準を検討いただきたい。

→検討させていただく。

(3) 禁煙・受動喫煙防止の取組について

(委員)県の事業で大学へ講演に行くと、飲食店で屋内禁煙になっておらず20歳未

満の学生がアルバイトで働けない所だったというのを知ったという感想を聞いた。法律や、条例の趣旨をまだ、飲食店の中には知らない方もおられるので、優しくアドバイスをしたらと思った。

(4) 岡山県国保ヘルスアップ支援事業実績について

(特に意見なし)

(5) 地域・職域保健連携推進事業について

(委員)協会けんぽは、県内の中小企業が加入している。今年になって、保健所や支所での地域職域連携の会議にも声をかけていただいている。今後も連携したいと思う。

2 その他